

↓ 当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。

弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

記

### 新規受託項目

- [12290] インターフェロン-λ3 (IFN-λ3)

### 受託開始日

- 2021年3月1日(月)



# インターフェロン-λ3 (IFN-λ3)

インターフェロン (Interferon : IFN) は体内でウイルスなどの病原体や腫瘍細胞などの異物に対して産生されるサイトカインであり、I型からIII型に大別されます。

IFN-λ3はIII型IFNの一つであり、抗ウイルス活性と免疫応答の調整を行っている分子です。C型肝炎ウイルスの病態や治療への関与が報告されていますが、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) においても特徴的な挙動を示すことが明らかになりました。

COVID-19患者のおよそ80%は症状が軽症で2、3週間以内に回復しますが、残りの患者は発症から1週間程度で重症化すると報告されています。また、重症化する患者も、発症初期は症状が軽く、その後急激に悪化すると言われています。現在の爆発的な感染拡大による医療提供体制の逼迫を避け、効率的な医療の提供を行う意味で軽症患者の重症化リスクを判断する検査が重要とされています。

IFN-λ3血中濃度は、呼吸不全などCOVID-19の症状が重症化<sup>\*</sup>する数日前に一過性の急激な上昇を示します。COVID-19重症化<sup>\*</sup>との全体一致率は86.4%、感度 88.9%、特異度 84.6%とされ、重症化リスクを判断する有用な検査として2021年2月3日より検査実施料が新規記載されました。

※COVID-19診療の手引き中の重症度分類により酸素投与が必要になる中等症Ⅱ以上

## 検査要項

項目コード	12290
検査項目名	インターフェロン-λ3 (IFN-λ3)
検体量	血清 0.3mL <sup>*1</sup> [容器番号：01番]
保存方法	冷蔵
検査方法	CLEIA
基準値	13.6 pg/mL 未満 <sup>*2,3</sup>
所要日数	2~3日
検査実施料	340点 <sup>*4,5</sup>
判断料	144点 (免疫学的検査判断料)
報告下限	3.0 pg/mL 未満
報告上限	200 pg/mL 以上
報告桁数	小数1位、有効3桁
備考	<p>*1 : SARS-CoV-2感染 (PCR陽性) および感染を強く疑う患者検体 (PCR検査を保健所もしくはPCR検査所へ紹介する必要がある患者検体) はカテゴリ-Bの三重梱包でご提出ください。三重梱包の資材は、貴院にてご用意ください。</p> <p>*2 : SARS-CoV-2陽性患者において、重症 (呼吸不全を伴う中等症Ⅱ以上) 化する前に、IFN-λ3の一過性の上昇が認められることが報告されています。このため、測定値が基準値を超える一過性の上昇後、基準値まで低下した時期に採血を行った場合は、重症化を予測できない可能性があります。SARS-CoV-2陽性患者の重症化リスクの判定補助には、他の関連検査および臨床症状なども含めて総合的に判断してください。</p> <p>*3 : C型慢性肝炎患者で高値を示すことがありますのでご注意ください。</p> <p>*4 : COVID-19と診断された患者 (呼吸不全管理を要する中等症以上の患者を除く。) の重症化リスクの判定補助を目的として測定した場合は、区分番号「D013」肝炎ウイルス関連検査の「14」HBVジェノタイプ判定の所定点数を準用して算定できます。この際、「D013」の「注」に定める規定は適用されません。</p> <p>*5 : 本検査を2回以上算定する場合は、前回の検査結果が基準値内であることを確認する必要があります。</p>

## 参考文献

Sugiyama M, et al. : Gene **766** : 145145, 2021.  
HISCL IFN-λ3 試薬添付文書